

なお、このプラズマ研究所は、その基礎研究の性格から文部省所管とするのが最もふさわしく、将来、核融合が現実化した場合には、当然その技術的開発のために別の施設が設けられることが必要であるが、その際においても、この研究所はなお、プラズマの基礎研究をおこなう施設として十分な存在価値があると考えらる。

4-64

庶発第911号 昭和34年12月4日

科学技術庁原子力局長 佐々木 義 武 殿

日本学術会議事務局長 竹 下 俊 雄

原子炉の安全性について（要望）

本会議の原子力関係委員会は、去る12月2日標記のことについての報告会を開催し、日本原子力発電株式会社および原子力委員会、原子炉安全審査専門部会の方々から報告を伺い、それについて質疑を行いました。そして、12月3日開催の原子力問題委員会において審議の結果、下記の事項について原子力委員会の御配慮を得たい旨強い要望がありました。

つきましては、原子力委員会よろしくお取り計らい下さるようお願いいたします。

記

- (1) 「原子炉の安全性について」は昭和34年10月19日付庶発第815号をもつて本会議事務局長から科学技術庁原子力局長あてに申し入れたが、それらの事項については、未だ措置せられてないので、早急に善処せられたい。
- (2) 日本原子力発電株式会社の原子炉の設置について、最終的な決定がなされる前に、なお広く学界の意見を聴取せられることが望ましい。
- (3) 原子炉の設置に当つては、設計・管理・運転の実施上絶対に守られなければならない条件が多い。つては、原子力委員会において、それらが確実に履行されるような体制の確立が望ましい。

5-1

The President
Academy of Sciences
23 Quai de Conti, Paris VI^e
FRANCE

Subject: Reported plan for Nuclear Test in Sahara
(声 明)

Dear Sir, I have the honour of communicating to you an appeal to scientists of your country adopted by Management Committee of the Science Council of Japan at its meeting held on January 22, 1960 as follows:

The Science Council of Japan has repeatedly appealed to their fellow scientists in different parts of the world